

第26回国土交通省管理職ユニオン定期全国大会 開催される！

「定年延長」「若年層の辞職」管理職の悩みは少くない
職場の知恵と力を結集し「やりがい」ある職場を築こう！

国土交通省
管理職ユニオンニュース

No373
2023年
6月5日

【発行】
国土交通省管理職
ユニオン

【所在地】
東京都千代田区
霞ヶ関2-1-2 中央
合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138

【Email】
k-union@alpha.ocn.ne.jp

【ホームページ】
http://www.k-
unionnetwork/

国土交通省管理職ユニオンは、第二六回定期全国大会を大阪市で開催しました。参加は代議員、役員等で33名、討論では、延べ35名の発言がありました。コロナ禍の制限は緩和され、職場で改めて対話を積み重ねる運動方針が確認されました。

□アンケート行動
幹部職員から
カンパが…

□コロナ禍で直接の対話が困難ななか、管理職ユニオンはアンケート活動を行ってきました。郵送等で広く配布することを工夫するなかで、複数の幹部職員からカンパが寄せられた事が報告されました。取り組んだアンケートでは、災害体制での職員管理や、若年層の辞職・技術継承等の将来の国土交通省

のあり方に係わる問題を
取り上げたことが共感を
呼んだのではないでしょ
うか！私たちの運動の共
感が広がった点で大きな
教訓です。



挨拶する亀井委員長

□意見の異なる課
題！アンケートの
力で広く深い議論
を！

組合員の叡智と
工夫で
「管理職アンケ
ート」
を拡げよう！

今年度の退職予定者から運用される「定年延長」制度について多くの意見が出されました。「当局は昨年人事院の資料を説明して以来、何らの説明がない」と言った当局の説明責任を追及する意見が出されました。
また、定年延長者の仕事として「係長の4級定数の穴埋め業務でなく、モチベーションが維持できる仕事を」との意見の一方で「給与は現役時の5割が実態。



答弁する笠井事務局長

給与実態に合った仕事を」との意見が出されていきます。「定年延長」制度及び再任用制度は、年金支給までの生活保障の意味合いがあります。同時に不足する定員事情を補い、中堅若手への行政技術継承に資するべきと考えます。

討論に参加する組合員



職場環境改善に頑張ります！ ご協力よろしくお願ひします

| 2023管理職ユニオン執行部 | | | |
|----------------|--------|-----|-----------|
| 役職 | 氏名 | 勤務先 | |
| 委員長 | 近藤 敏 | 北陸 | 北陸技術 |
| 副委員長 | 加藤 正己 | 近畿 | 大阪国道 |
| 副委員長 | 春藤 千之 | 近畿 | 紀南河川国道 |
| 副委員長 | 根本 悟 | 地理 | 関東地方測量部 |
| 事務局長 | 大枝 千晋 | 近畿 | 姫路河川国道 |
| 事務局次長 | 安藤 浩照 | 中部 | 天竜川上流河川 |
| 事務局次長 | 星野 豊 | 関東 | 横浜国道 |
| 執行委員 | 亀田 誠 | 東北 | 仙台河川国道 |
| 執行委員 | 原 俊彦 | 北陸 | 信濃川下流河川 |
| 執行委員 | 鎌倉 啓彰 | 関東 | 東京外かく環状国道 |
| 執行委員 | 津村 智明 | 近畿 | 紀南河川国道 |
| 執行委員 | 末永 敦 | 中国 | 岡山河川 |
| 執行委員 | 石川 洋 | 四国 | 河川部水災害予報C |
| 執行委員 | 興梠 逸郎 | 九州 | 武雄河川 |
| 執行委員 | 井上 武久 | 地理 | 測地部 |
| 会計監査 | 笠原 祥一 | 関東 | 下館河川 |
| 会計監査 | 大森 徹治 | 中部 | 天竜川上流河川 |
| 事務局員 | 上林 喜美夫 | 関東 | |
| 事務局員 | 山本 健二 | 近畿 | 京都国道 |

「国土交通行政拡充を！」 国交労組と共に 国会議員要請

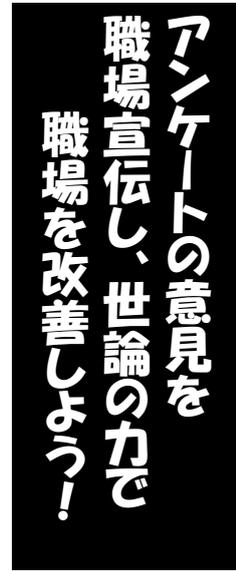
数も年々増加している」と報告。建設分野の担い手不足について「10年で設計労務単価は5割ほど引き上がったが、下請けまで届く仕組みが必要だ。人手不足解消で防災・減災を実現していく重

日本共産党の高橋千鶴子衆院議員が「今国会で議論されている高速道路と鉄道、空き家対策など、高度成長時代のツケから国のあり方が問われている。生活密着の公共事業へともに取り組む」とあいさつしました。

（表面よりつづく）支援業務の問題では、「インハウスで可能なものはインハウスに変えて、係長等の負担を減らすべき」「なし崩しで業務範囲が決まっている。若手の経験不足につながる。職員が責任持つべきは職員

では、意見が多様化していることが明らかとなっております。管理職ユニオンは、こうした多様化する職場

い、職場の支持を確認しつつ、国土交通省・地方整備局・国土地理院の当局、更には人事院本院・内閣人事局交渉で職場



実態と要求を伝え、職場の改善を迫っていきます。

職場の管理職の皆さん。

の問題に対して、アンケートを取り組む事を確認しました。アンケートで得た最大多数の意見を軸に機関紙宣伝を行います。

国土交通省管理職ユニオンなど3単組は5月15日、衆院第1議員会館で「国土交通行政を担う組織・体制の拡充と職員の確保を求める署名」等の国会採択を求める集会を開き、議員要請行動を行いました。

国土交通省管理職ユニオンの笠井良彦事務局長は、「現場を担う係長層の離職が続出している。『超勤青天井』の悪癖をなくし、人員増を求めていく」と語りました。

